

土谷総合病院 院長 土谷 治子

新年明けましておめでとうございます。

平素より皆様から数々のご厚情・ご支援を賜りまして職員一同御礼申し上げます。

昨年は、医療法人あかね会の設立50年、当院循環器内科の発足から40年という節目の年にふさわしく沢山のトピックスがありました。まず4月には、循環器内科林 康彦が常勤に復帰、6月にはMRI (Philips社 Ingenia1.5T) を更新いたしました。9月には、人工臓器部 川西秀樹が大会長として、第34回国際血液浄化学会総会を開催、又、広島大学循環器内科木原康樹教授に座長の労を引き受けてもらい、循環器内科部長、村岡、沖本による現在の当院の循環器内科の現状の講演を病診連携の会と同時に開催し、沢山の地域の先生方と職員が直接お会いし、お話ができる良い時間を持つことができました。院内では上記のようなことがありましたが、病院周辺でも昨年はオバマ大統領来広、広島東洋カープ優勝パレードと活気づいた一年でもありました。

本年もあかね会の理念である「いま求められている医療の最高レベルを目指すとともに、明日の医療のあり方に機能しよう」を忘れず、皆で努力してまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

平成29年が皆様にとって良いお年となりますよう祈念いたします。



地域医療連携室 室長 荒滝 桂子

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年は『酉年』

酉の由来は、「果実が極限まで熟した状態」だそうです。換言すれば、「物事が頂点まで極まった状態」ということでしょうか。地域医療連携室の業務は、各病院・開業医の先生からのご紹介窓口のみならず、逆紹介、転院、退院・在宅支援と多岐に渡ります。これまでは、どちらかという「電話1本 気軽な関係」を築き、急患対応をすることをモットーにしてまいりました。しかし、高齢化社会を迎えるにあたり、急性期医療を受けたのちに何ら問題なく自宅退院できる方よりも、退院後も何らかの支援がなければ生活できない方が増加することが予測されます。いいえ、現在でもひしひしと感じています。

そのニーズに応えるべく、退院後も患者様、ご家族が笑顔で暮らせるように、かかりつけ医の先生、訪問看護ステーション、後方支援病院のスタッフの方々と「電話1本 気軽な関係」を築き、地域に根づいた地域医療連携室にならなければなりません。

酉年の今年中に、この目標が頂点まで極まることは難しいですが、少しでも頂点に近づくよう、前方および後方連携の強化に努める所存でございます。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

この新しい年がより佳き年になりますよう心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



■日医生涯教育協力講座

第18回 土谷循環器カンファレンス

(日本医師会生涯教育制度 1.5単位)

(カリキュラムコード：43動悸、44心肺停止、45呼吸困難)

日時：平成29年1月24日(火) 19:00~20:30

場所：土谷総合病院 8階会議室

内容：症例検討(3例)

ミニレクチャー『不整脈外来における不整脈検出法』 担当：循環器内科医師 永元 康嗣

■土谷総合病院のホームページに「不整脈センター」の情報がアップされました

不整脈センターは、不整脈を専門領域とした医師および臨床工学技士により構成されています。

外来診療では不整脈外来、ペースメーカー外来といった専門外来で不整脈の診断、ペースメーカーフォローなどを行っており、ペースメーカーの状態を無線で管理する遠隔モニタリングも行っております。

入院診療ではアブレーション治療、ペースメーカー植え込みを始め、種々の病態に対してチームで取り組んでおります。



ホームページでは、不整脈治療に関する情報①カテーテルアブレーションについて②心房細動について③ペースメーカーについて詳しく掲載しております。ぜひご覧いただき、お気軽にご相談ください。

■不整脈センターの「初診外来日」が増えました(赤字部分)

		月	火	水	木	金
午前	新患	-	村岡 裕司	藤原 舞	三戸 森児	永元 康嗣
	再診	-	三戸 森児	藤原 舞	村岡 裕司	永元 康嗣
	特殊外来	-	-	-	三戸 森児 (パ-スメカ)	
午後	救急のみ、当番医にて対応させていただきます					



2016年 医療安全 標語決定



【医療安全推進週間：H28.11/20~11/26】

厚生労働省では、毎年11月25日を含む1週間を『医療安全推進週間』としており、当院でも医療安全について考える機会を持ってもらうため、例年、職員に標語を募集しています。2016年度は、この3点が選ばれました。医療安全対策室のリスクマネージャーが、標語に合わせてポスターを作成、院内へ掲示し啓発活動につなげています。



最優秀賞



優秀賞



優秀賞

NST だより

平成28年 10月



神ってる...

NST紹介！！

NST委員会

一昨年の診療報酬改定により、「胃瘻造設時嚥下機能評価加算」の算定が行えることとなりました。そのためには所定の研修を修了した医師がVE（嚥下内視鏡検査）を実施することが条件となり、当院の医師3名（外科：川口医師、透析：番匠谷医師、消内：石丸医師）が研修を終了し施設認定を受けました。また、5Nの竹内副主任が半年間の研修を経て、「摂食嚥下障害看護認定看護師」を取得しました。それぞれコメントを頂いていますので紹介したいと思います。リンクナースも新しくメンバーが入り代わり、更に知識を深め栄養に関心を持ち活動しています。

嚥下のことはお・ま・か・せ！

◆胃ろう造設の前にVE評価をしましょう◆

消化器内科 石丸正平



消化器内科の石丸です。土谷総合病院に赴任して8年目、NSTのメンバーになって約3年が経過しました。嚥下機能検査(VE)、内視鏡的胃瘻造設(PEG)を中心にNSTの活動に参加させていただいています。

急性あるいは慢性的の疾患の経過中に、高齢の患者さんの多くが容易に食欲低下・嚥下機能の低下を併発する病態に多々遭遇します。従来の補液・内服薬・経鼻の経管栄養では十分な改善が得られない症例も少なくありません。以前に比べてやや一般化しつつある胃瘻造設・管理による栄養状態改善・維持も、一般の患者さんやご家族にとってはまだまだハードルの高い処置です。

本年1月24日東京慈恵会医科大学で開催された『嚥下機能評価研修会/第15回PDN VEセミナー 東京』に外科の川口先生とともに参加してきました。嚥下機能のメカニズム・嚥下障害の診断/検査・VEとPEGなどに関して、限られた時間でのびっしりとした講習でした。嚥下障害の多さ、評価の難しさを痛感する一方で、会場内にいる医師・コメディカルスタッフの熱気を通して嚥下障害が臨床の現場で問題となっている事も強く実感しました。診療報酬の改定に伴い、胃瘻造設時には前もってVEによる正確な嚥下機能の評価をすることが前提となっています。VEの評価なしで胃瘻造設すれば加算が得られず、実質2,500点の診療報酬の減算となります。(現在の胃瘻造設術単独の診療報酬:6,070点。改訂前の診療報酬はVE施行の有無に関係なく、10,070点)昨今の安易な胃瘻造設の適応・導入に抑制をかける事が目的と思われます。

VE・PEGを含めた患者さんの栄養障害に関してご家族・主治医・看護師などの病棟スタッフ・NSTメンバーが十分な情報共有をし、より良い栄養サポートをしていきたいと思っています。ご協力を宜しくお願いいたします。

摂食嚥下障害看護認定看護師

竹内美奈子



昨年度、約半年間の認定教育課程に行かせていただき、7月に認定審査に合格することができました看護師の竹内です。私は入職時より循環器病棟に勤務しており、0歳の人生の後輩、100歳を超える人生の先輩まで関わってきました。

NST活動には発足2年目からリンクナースとして参加させて頂きました。「口から食べる」ということを深く考えるようになったのは、経口摂取が困難となり胃瘻を造設することになった患者様の御家族から「人間らしくあって欲しい」と言われたことがきっかけでした。超高齢社会を迎え、当院に入院または外来通院される患者様も疾患に年齢が加わり、病態が複雑化されます。病状が徐々に悪化していく中で患者様の願いが美味しく食べることなら、出来る限り願いが叶えられるように、NSTを通して現状を評価し、適切な対応を行って行きたいと思います。認定看護師としては走り始めたばかりですが、看護師の視点を活かし、チームの力を借りて、患者様に向き合っていきたいと思っています。何か病棟などでお困りのことがあったら、気楽に声をかけていただけたらと思います。



認定看護師とは・・・

看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める615時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる看護師のことを指し、高度化・専門分化が進む医療の現場における看護ケアの広がりや看護の質の向上を目的としています。



VEの様子



院内研修会 (9月)



NST親睦会にて (7/5)



恒例の親睦会を開催、自己紹介やビンゴゲームをして盛り上がりました。職種の垣根を越えて交流を図り、和気あいあいと楽しく信頼を深めています☆(o^o^)/

◆◆編集後記◆◆

広島カーブの活躍にあやかり、「NSTだより」をスペシャル版に仕上げてみました。ネーミングだけでなく、認定看護師の誕生やVE加算をとるため、先生方がVEの研修を終えたことなどで、今後のNST活動の質が向上し、患者様へより適切な栄養管理を提供できるのではと期待します。

さて、日本シリーズ カーブの優勝は・・・？ (外来 太田)

適切な物品を使って正しいケアをしましょう！

当院売店の口腔ケア用品が充実されました



★歯の表面、歯肉そして口腔粘膜の上には細菌が付着しています。胃ろう造設の際には、内視鏡の挿入と同時に、これらの細菌は気管や肺に押し込まれ、肺炎の発症につながることもあります。

★食べていない→お口を使わない→口腔機能が低下する→口腔内の衛生が保てない→誤嚥性肺炎のリスクが高くなる・・・だから口腔ケアはとても大切です。

医師の異動のお知らせ

■退職 ～在職中は大変お世話になりました～

人工臓器部：橋本 慎二（12月末）

麻酔科：荒田 久美子（1月）

■入職 ～よろしくお願いします～

人工臓器部：山下 正博（1月）

麻酔科：柳部 憲佑（1月）

場所：8階会議室 参加費：無料 *当日参加可能です

各教室のご案内

《疾患を持つ方とご家族、又は興味のある方ならどなたでも参加できます》

教室名/時間	月日	内容	担当	お問い合わせ
慢性腎臓病の 食事教室 14:30～15:30	1月4日	「カリウム」の控え方	医師/管理栄養士/看護師	3階南病棟 看護師長
	2月1日	「たんぱく(2)」の摂り方		
	3月1日	「献立」の立て方		
慢性腎臓病教室 10:30～11:30	1月17日	「血圧と慢性腎臓病 (CKD)」	医師/薬剤師/看護師	
	2月21日	「透析と慢性腎臓病 (CKD)」	医師/薬剤師/看護師	
	3月21日	「糖尿病と慢性腎臓病 (CKD)」	医師/薬剤師/看護師	
心臓病教室 14:30～15:30	1月16日	お薬を知ろう!!	薬剤師	心臓血管 センター
	2月6日	備えあれば怖くない心臓病の話	心臓血管外科医師	
	3月6日	運動のウソ? ホント?	理学療法士	
糖尿病教室 14:00～15:00	1月27日	糖尿病の治療	医師	お薬窓口
	2月10日	実践しよう!!糖尿病の運動療法	理学療法士	
	2月24日	糖尿病と認知症	医師	
	3月10日	今晚、何食べよう? (おかずセレクト術)	管理栄養士	
肝臓病教室 14:30～15:30	1月30日	肝臓病の検査について/肝がん早期発見の方法	検査技師/医師	北外来
	2月27日	「肝疾患患者様の日常生活」/肝がんの治療	外来看護師/医師	
	3月27日	「肝臓病と栄養」/肝硬変とのつきあい方	管理栄養士/医師	

医療法人あかね会 土谷総合病院 〒730-8655 広島市中区中島町3-30

* 地域医療連携室（紹介予約専用）*

TEL : 082-243-9222 FAX : 082-243-9223

《スタッフ紹介》

室長 (消化器内科部長) 荒滝 桂子

転院相談 (看護師) 師長伊美 礼子 楠本 万理

紹介予約 (事務) 高橋 正江 山崎 貴子

医療相談 (MSW) 林 愛子 清水 香保里 倉岡 美紀 桂木 真由美

入退院センター (看護師) 内部 麻紀 亀井 久美子 松本 慶子 宮本江里子

(事務) 廣川 敦子

